

ふくおか & MAFF

2021.3
vol.22

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- 福岡県拠点主催の講演会・パネルディスカッションを開催
テーマは「SNS時代に対応した情報発信と販売戦略」
- 筑前町ファーマーズマーケットみなみの里の紹介
- 若手農業者との意見交換の概要 ～J Aふくおか八女～



福岡県拠点主催の講演会・パネルディスカッションを開催 テーマは「SNS時代に対応した情報発信と販売戦略」

福岡県拠点はオンラインによる講演会・パネルディスカッションを開催しました。

基調講演では農林水産省大臣官房広報評価課安川広報室長、発表では農業者3名とBUZZMAFF「おぐやけくしゅ」の白石さんが報告を行いました。その後、パネルディスカッションで農業者・地域と消費者の「SNSを通じたつながり」や販売について議論を行いました。



パネルディスカッションでの主な発言をご紹介します。

《コーディネータ》
(株)トータルオフィス・タナカ
田中 美智子さん

お聞かせ
ください

- ・ 求めている情報はどんなもの
- ・ SNSを見てもらうための工夫
- ・ SNSを活用した展望

《パネリスト（消費者）》
九州産業大学生命科学部生命科学科
古澤 法子 さん



- ・ 作物の成長過程、食べた場合の効果等の豆知識、簡単なレシピの動画がある投稿は気になる。

《パネリスト（消費者）》
(有)オフィスノアール 竹田 マキ さん



- ・ 野菜は新鮮なものがいい。通販も利用。「#野菜通販」、「#野菜販売」で検索し、明るくきれいで新鮮さが伝わるサイトに惹かれる。簡単に購入可能も大事。

モデル事務所会長としての発言

- ・ 「#（ハッシュタグ）」をつけることで確実にフォローワー数が増える。会社の名前や皆様が検索する単語が効果的。また、最初は皆様に知ってもらうため、マメに発信することが大事。

《パネリスト（農業者）》
(株)エフワイアグリ 各務 栄作 さん



- ・ 社内で発信内容に関する会議を週1回開催。
- ・ SNSやHPの活用で直接消費者の方とつながりが活発になると、違った農業の在り方をつくっていくかと思う。

- ・ 新人面接のヒアリングで、休みがとれるか、きつい現場なのか等、現場の実態を知りたいという声を聞き、働き方や作業環境について投稿。
- ・ 求人関連で「#農業男子」や「#農業女子」等をつける等、数で勝負。「#楽しい農業」等、ポップな表現で見えてくれる方もいる。

《パネリスト（農業者）》
くわの農園 栗野 由美 さん



- ・ 文章は簡潔に、飾りたえず、ありのままを投稿。
- ・ 質問者が1人いたら、その後ろには100~200人いると考え、次にアップする際、質問に対する答えを投稿。
- ・ SNSには文章や写真に応じたタグを付け投稿。これは自身の活動の備忘録代わりにも利用。
- ・ SNSに限らず、これからも日々情報発信し、皆さんとつながっていききたい。

《パネリスト（農業者）》
おぼろ夢茶房 久間 正大 さん



- ・ 消費者目線での投稿は関東在住のスタッフが行う。首都圏在住者の趣向や生活スタイルを感じることができ、商品開発のヒントを得られるのはありがたい。
- ・ 今後はさらにファンを増やし、お茶の効能的な側面も含め、魅力を発信できればと思う。

貴重なお話ありがとうございました！



筑前町ファーマーズマーケットみなみの里を紹介

みなみの里は2009年設立、直売所をメインに加工所や農村レストラン等を有した地域活性化の拠点施設です。

キャッチフレーズは
「食で筑前町を発信！
& 食べて応援！」



後継者育成のほか、加工所ではブランド商品「筑前クロダマルきな粉」を製造。このきな粉を活用した新商品が町内の事業者により製造されるなど、地域の農商工連携にも寄与。



筑前クロダマル

高齢女性スタッフのアイデアと技術により、九州北部豪雨の際には「復興弁当」を販売。また、昨年のコロナ禍では、学校給食の中止により余ったキャベツを使い「給食キャベツのお好み焼き」を開発・販売。



給食キャベツのお好み焼き

選定、受賞されました。おめでとうございます！

《選定》

令和2年度九州農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝（ビジネス部門）」



《受賞》

令和2年度地産地消等優良活動表彰「食品産業部門」にて「農林水産大臣賞」



「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（九州農政局HP）



<https://www.maff.go.jp/kyusyu/press/shinko/20210301.html>

地産地消等優良活動表彰（農林水産省HP）



<https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/renkei/210101.html>

若手農業者との意見交換の概要 ～JAふくおか八女～

若手農業者との意見交換第3弾！！今回は、JAふくおか八女就農支援センターを卒業し、就農された非農家出身の3名の農業者と意見交換しました。



農業者の皆様をご紹介します。

意見交換での主な意見をご紹介します。

植本 哲司 さん

- ・就農5年目
- ・作付品目：とまと、もも、ぶどう（シャインマスカット）



★他業種からの新規就農者は、農地や農機具など営農基盤が弱いため、支援が必要。

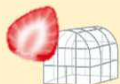
★国などが新規就農者向け研修用ハウス団地を整備し、研修期間内に農地確保等の就農準備ができれば良い。



農業研修施設（いちご）

西 裕之 さん

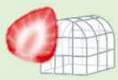
- ・就農5年目
- ・作付品目：いちご



★スポット的な雇用を含め、労働力の確保が課題。スマートフォンのアプリで必要な時期に人材マッチングできる仕組みがあればよい。

金谷 栄作 さん

- ・就農2年目
- ・作付品目：いちご



★栽培技術習得の動画は作業の空き時間に視聴可能。様々な動画のプラットフォーム的なサイトがあればよい。

興味はあるけど、農業ってどう始めたらいいんだろう？



新・農業人ポータル（農林水産省HP）
https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/

★就農後も継続的な栽培技術習得のための支援を願う。

貴重なご意見ありがとうございました。



【お問合せ先】 九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）
<http://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

